

平成 20 年 3 月 25 日

報道関係者各位

株式会社コーチ・エイ

“ウェイ・マネジメント・セミナー2008”  
「ウェイ浸透にむけたコミュニケーション戦略」とは  
～コーチ A 取締役社長 鈴木義幸が講演～

日本におけるコーチングのリーディングカンパニー、株式会社コーチ・エイ（東京都千代田区、03-3237-8815）の取締役社長 鈴木義幸は、3 月 12 日（水）に開催された “ウェイ・マネジメント・セミナー 2008 ～新しい企業理念（ウェイ）の浸透策、そして強い現場を醸成する仕組み～”（主催：ビジネス・フォーラム事務局）にて、「ウェイの浸透に向けたコミュニケーション戦略」と題する基調講演を行いました。

現在、多くの企業が“ウェイ（企業理念・文化）”を企業マネジメントに取りこみ、トップから現場までいかに理念を共有するかに注力しています。その背景には、M&A による社内環境の変化や海外進出に伴う人材の現地化、ダイバーシティの多様化、カリスマ経営者の退任など、さまざまな要因が挙げられます。本セミナーでは、“ウェイ”の浸透にむけた手法やキーファクター、実例について発表・検証されました。

#### ＜ウェイマネジメントの定義＞

鈴木は冒頭、“ウェイ”を「ミッションを実現し、ビジョンに向かうための指針となる行動基準」とし、この行動指針を社内に浸透させ、方法に統一性をもたせていくことを“ウェイ・マネジメント”と定義しました。

#### ＜行動理論に基づくウェイの浸透＞

ウェイ浸透の方策としては、“人の行動科学における ABC 理論に基づくアプローチ”を紹介。「人の行動には、その前後の刺激（きっかけ）と結果が大きく影響する」（鈴木）とお話しました。具体的には、

1. 自社のウェイについて考えるきっかけや話題を提供する（Antecedents）
2. 社員が理念に基づいた行動を起こす（Behavior）
3. その行動に対して承認する（Consequences）

この 3 つのサイクルが社内で継続的に発生し、醸成するためのコミュニケーション、あるいはプロセスを構築することがウェイ浸透につながる、と提言。ウェイ・マネジメントとは、「社員に自分たちの会社が何なのか、自分たちが大切にしている価値観とは何かを社員間で考える機会をもち、体現するチャンスを与え続けるプロセスである」（鈴木）とまとめました。

#### ■ウェイ浸透を成功に導くためのポイント

1. ウェイ浸透に対する経営トップのコミットメント
  - 企業活動のあらゆる場面で理念を話題にし、社員に伝える姿勢をもつこと
2. 最適なウェイの抽出
  - 企業の現状と方向性に適した表現レベルで“ウェイ”を言語化すること
3. 「問い」として発信
  - 理念を「問い」の形で共有すること
  - 日常的に「問い」について考え、内在化させる仕組みをつくること

#### 【上記の件に関するお問合せ】

株式会社コーチ・エイ 広報担当

大谷恵 / 田上誠司

TEL:03-3237-8815

FAX:03-3237-8817

<http://www.coachA.com/>

## 【参考資料】

### 会社概要

社名:	株式会社コーチ・エイ
本社所在地:	〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30 イタリア文化会館ビル 10 階
URL:	<a href="http://www.coachA.com/">http://www.coachA.com/</a>
設立:	2001 年 10 月
代表者:	代表取締役会長 伊藤 守 取締役社長 鈴木 義幸
資本金:	1 億円
事業内容:	<ul style="list-style-type: none"><li>・ エグゼクティブ・コーチング</li><li>・ インタラクティブ・コーチ・トレーニング</li><li>・ コーチング・アセスメント</li></ul>

#### 鈴木義幸

##### 株式会社コーチ・エイ 取締役社長

慶應義塾大学文学部卒。(株)マッキンゼー・エリクソン・ボストン・コンサルティング・アドヴァイザーズにメディアプランナーとして勤務後、渡米。ミドルテネシー州立大学大学院臨床心理学専攻修士課程を修了し、テネシー州の公的機関でセラピストを務める。帰国後、コーチ・トゥエンティワンの設立に参画。延べ 200 社以上の企業において管理職を対象とするコーチング研修を行う。また 150 人を超える経営者、管理職のマンツーマンコーチングを実施。企業におけるコーチング・カルチャーの構築を手がける。著書に「コーチングが人を活かす」(ディスカヴァー)「ほめる技術」(実業出版)「プレゼンスマネジメント」(日経 BP)「決断の法則」(講談社)など。

